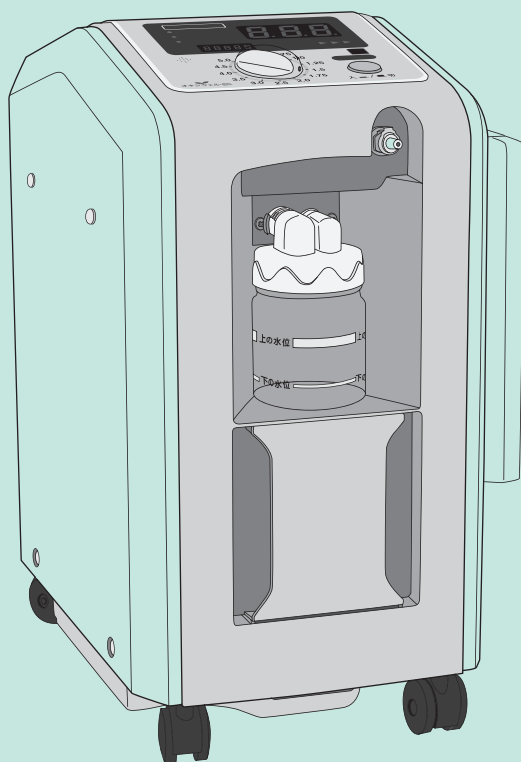
取扱説明書

管理医療機器　酸素濃縮装置

特定保守管理医療機器

オキシウェル®・5X

（認証番号：224AHBZX00031000） EMC適合

●この取扱説明書には、安全についての注意事項を記載しております。
正しくご使用いただくためによくお読みのうえ、必ず医師の指示にしたがって使用してください。
●お読みになった取扱説明書はいつでも参照できるように大切に保管してください。
※この装置は在宅酸素療法以外の目的に使用しないでください。

もくじ

ご使用の前に

機能および使用目的

本装置は空気から窒素と酸素を分離することで高濃度の酸素を生成し、酸素吸入療法が必要な方の呼吸を補助するために、医師の処方のもとに使用します。

安全上のご注意

ご使用の前に、よくお読みのうえ、正しく使用してください。

●この装置は医師の処方および指示にしたがってご使用ください。
●装置に異常が起きたときは運転を停止して、サービス業者へご連絡ください。

ここに示した注意事項は、次の3種類に分類しています。

⚠危険	誤った取り扱いにより、死亡または重傷などの重大な結果が差し迫って生じることがあるものを示しています。
⚠警告	誤った取り扱いにより、死亡または重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるものを示しています。
⚠注意	誤った取り扱いにより、傷害または物的障害が発生する可能性があるものを示しています。

絶対にしないでください。

必ず指示どおりに行ってください。

必ず電源プラグを抜いてください。

いずれも安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守ってください。

⚠危険 使用上の注意事項

火気厳禁

● 運転中は火気を近づけない。
ストーブなどから2m以上離す。
● 酸素吸入中は、コタツの中へ頭を突っ込んだり、カイロを使用したりしない。
火災、ヤケドの原因となります。
● カニューラや延長チューブを火気に近づけない。

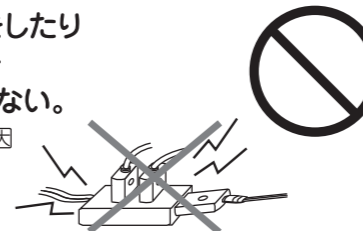
禁煙

● 酸素吸入中は近くでタバコを吸わない。
火災、ヤケドの原因となります。

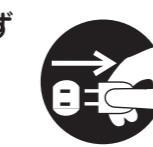
⚠警告 使用上の注意事項

● オイル、グリースまたは潤滑油を使用しない。
火災、故障の原因となります。

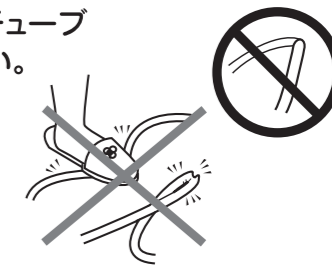
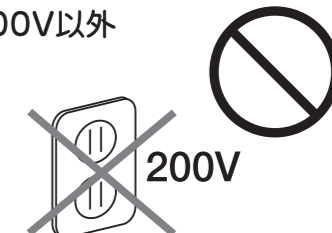
● 本体カバーを開けない。
感電、故障の原因となります。

● タコ足配線をしたり延長コードを使用したりしない。
火災、感電の原因となります。

● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたりしない。
また、重いものを載せたり、はさみ込んだりしない。
火災、感電の原因となります。

● 電源コードが損傷していたら速やかに装置を停止させ、コンセントから電源プラグを引き抜く。
火災、感電の原因となります。

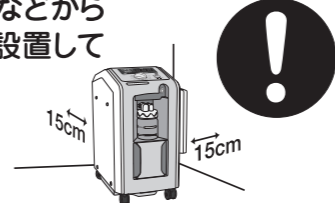
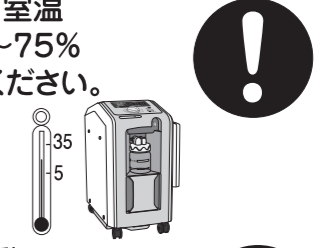
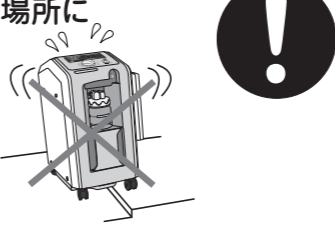
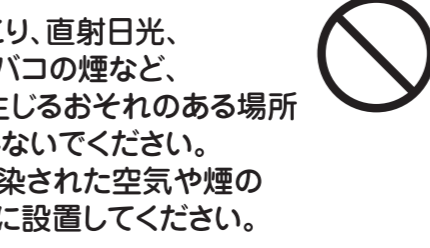
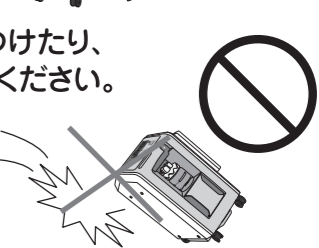
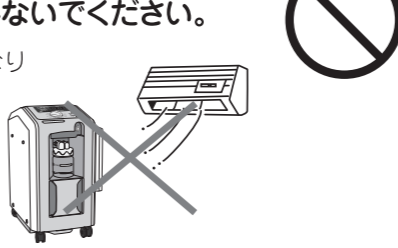
● 長時間使用しないときは、必ず電源プラグを抜く。
絶縁劣化による感電・漏電の原因となります。

● 雷が鳴り出したら、装置にふれない。
感電の原因となります。

● スプレーなど、可燃性ガスや腐食性ガスがある環境で使用しない。
火災、故障の原因となります。

● カニューラやチューブを折り曲げない。
酸素を吸入できなくなります。

● 電源は交流100V以外使用しない。
火災、故障の原因となります。

● 電源プラグは、ほこりの付着がないことを確認し、刃の根元まで確実に差し込む。
ほこりの付着や、接続が不完全なときは、感電や火災の原因となります。

● 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。
感電、故障の原因となります。

● 浴室など湿気の多いところには設置しない。
感電、漏電の原因となります。

● 水のかかるおそれのある場所に設置しない。
感電、漏電の原因となります。

⚠注意　使用上の注意事項

● **運転中に1.5m以内で携帯電話を使用しないでください。**
装置が停止し酸素が供給されない恐れがあります。

● **装置の上にものを置かないでください。**
花びんの水などがこぼれると故障の原因となります。

● **霧状の薬液が出るネブライザなどを近くで使用しないでください。**
薬液などが装置内に入ると故障の原因となります。

● **殺虫剤、芳香剤、蚊取り線香を近くで使用しないでください。**
故障の原因となります。

● **指定品以外の加湿器や吸気用付属品を使用しないでください。必ず指定品を取り付けて運転してください。**
性能に悪影響がでる場合があります。

● **加湿器には精製水を使用してください。**
精製水以外（水道水、食塩水など）は使用しないでください。精製水は薬局でお買い求めください。

● **加湿器のフタはしっかりと閉めてください。**
フタの閉め方がゆるいときや装置本体への取り付けが不十分なときは酸素が吸入できません。

● **加湿器の精製水は週に1回以上交換してください。**

● **加湿器はていねいに洗って清潔に保ってください。**
加湿器洗浄の際、ガソリン、ベンジン、シンナー、みがき粉、金属たわし、熱湯などは使用しないでください。
変色、変形、傷の原因となります。

● **加湿器にお湯を入れないでください。**
ヤケドや加湿器が変形する原因になります。

● **座ったり、上にのったりしないでください。**
けが、故障の原因となります。

● **空気取入口や排気口に針金などを入れないでください。**
故障の原因となります。

● **子供にさわらせないでください。**
故障の原因となります。

● **運転停止入力後、装置が完全に停止したことを確認してから電源プラグを抜いてください。**
故障の原因となります。

● **運転中は、防塵フィルタを取り付けて運転してください。**
故障の原因となります。

● **流量設定つまみの位置は、正確に合わせてください。**
流量表示に数字が表示されない位置に、流量設定つまみが止まっていると酸素が出ません。

● **お手入れの際は、必ず運転を停止し、電源プラグを抜いてください。**

● **お手入れの際、直接水をかけないでください。**
故障の原因となります。

● **保守・点検は定期的に必ず行ってください。**
装置の性能を維持するために必ず必要です。

⚠注意　設置上の注意事項

● **装置のまわりは壁などから15cm以上離して設置してください。**
装置内部が高温になり、故障の原因となります。

● **装置は床の平らな場所に設置してください。**
不安定な状態でのご使用は、けが、故障の原因となります。

● **湿気やほこり、直射日光、油の煙、タバコの煙など、悪影響の生じるおそれのある場所には設置しないでください。装置は、汚染された空気や煙のないところに設置してください。**
故障の原因となります。

● **冷暖房機の風が直接あたる場所に設置しないでください。**
故障の原因となります。

● **装置は室内に置き、室温5～35℃、湿度30～75%の場所に設置してください。**
上記範囲外でのご使用は故障の原因となります。

● **運転中は装置を移動させないでください。必ずキャスタをロックして使用してください。**
運転中の移動は、故障の原因となります。

● **運搬、移動時はぶつけたり、たおしたりしないでください。**
故障の原因となります。

● **空気取入口や排気口をふさがないように、カーテンなどのそばに設置しないでください。**
性能の低下や故障の原因となります。

● **ラジオやテレビなどの近くに設置するときは、1m以上離してください。**
雑音が入ることがあります。

〈おねがい〉

●停電や故障などにより装置が使用できなくなる場合に備え、緊急用の酸素ボンベを用意しておくなど十分な対応を行ってください。
●使用するご本人や周りの方が心臓ペースメーカーなどの体内埋め込み型電子機器を装着している場合は、医師にご相談のうえ慎重に使用してください。
●病状または病態が不安定な方、酸素投与により二酸化炭素蓄積が増悪する方は、医師にご相談のうえ慎重に使用してください。
●ご使用中に以下のような症状があらわれた場合は、医師に相談してください。

◎息切れが強いとき、ツメの色が紫色になるとき
◎発熱したり、いつまでも体のだるさがとれないとき
◎痰の量が増えたり、痰の色が今までと変わったとき
◎尿の回数が減り、手足がむくんできたとき
◎じっとしていても、強く動悸を感じるとき
◎頭が痛いとき　◎ねむけが強くなったとき
◎咳の回数が増えたとき
◎鼻、口、のどがかわくとき

※上記症状以外にもおからだに異常を感じた場合は、医師に相談してください。

各部の名前と働き

本体

操作パネル
運転、停止、流量設定などをします。

取っ手(前部)

加湿器
精製水を入れて酸素を加湿します。

キャスタ
前輪(2個)にはストッパが付いています。

酸素出口
メタルジョイント

取扱説明書入れ
取扱説明書や予備の防塵フィルタなどを収納します。(取扱説明書入れは本体の左側面、右側面のどちらにでも取り付け可能です。)

空気取入口
装置内に空気を取り入れます。(防塵フィルタを必ず装着してください。)

空気取入口カバー
内側に防塵フィルタを装着します。

取っ手(後部)

電源プラグ
コンセントに接続します。

ブレーカ
電源コード掛けの下側にあります。

排気口
装置の底部にあります。

電源コード掛け
電源コードを固定します。

操作パネル

流量表示
設定の流量を表示します。

明るさセンサ
部屋が暗くなるのを検知し、夜間まぶしくないよう自動的に各表示ランプの明るさを調整します。

異常表示
異常発生時、赤色に点灯または点滅します。(11、12ページ参照)

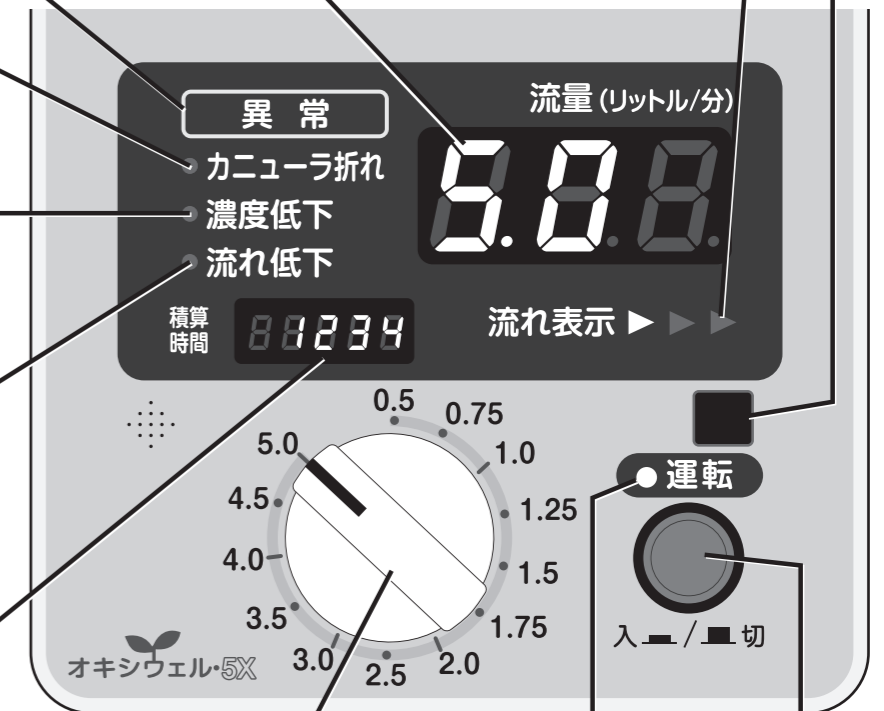
流れ表示
酸素が出ているときは、緑色にスクロール点灯します。(8ページ参照)

カニューラ折れ表示
カニューラや延長チューブが折れて流量が異常になったときは、黄色に点灯します。(12ページ参照)

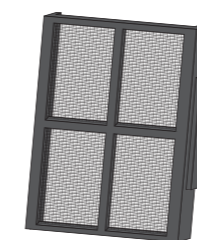
濃度低下表示
酸素濃度が低下しているときは、黄色に点灯します。(13ページ参照)

流れ低下表示
流量が低下しているときは、黄色に点灯します。(13ページ参照)

積算時間
運転開始時間および流量設定つまみを回したとき、積算使用時間を約30秒間表示します。運転終了時にも積算使用時間を約5秒間表示します。
※上記以外のときは、消灯しています。

運転表示
装置運転中は緑色に点灯します。

流量設定つまみ
つまみを回して処方流量に設定します。
0.5、0.75、1.0、1.25、1.5、1.75、2.0、2.5、3.0、3.5、4.0、4.5、5.0(ℓ/分)に設定できます。

電源スイッチ
装置の運転、停止用の押しボタンです。

付属品

防塵フィルタ
(予備1個)

取扱説明書
(1冊)

添付文書
(1冊)

⚠注意

指定品以外の加湿器や吸気用付属品と共に使用した場合、装置の性能に悪影響が出る場合がありますので、指定品以外は使用しないでください。

ご使用方法について

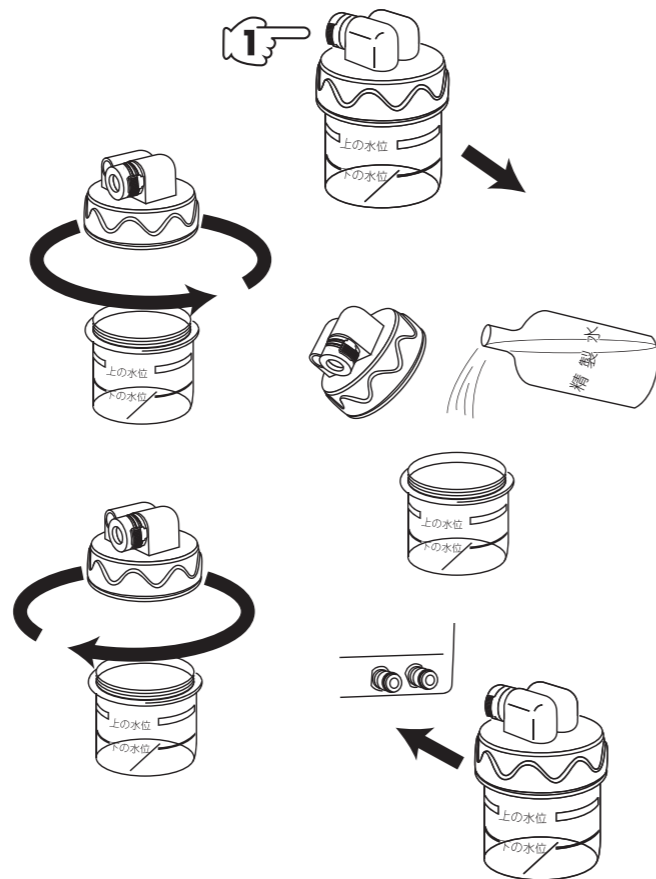
定位置に置いた後、必ず前輪のキャスタをロックしてください。

加湿器の準備

⚠注意

●加湿器には精製水をご使用ください。
精製水以外（水道水、食塩水など）は使用しないでください。
精製水は、薬局でお買い求めください。

ワンタッチカプラ
フタ
ビン
上の水位
下の水位

1	加湿器のフタの赤いボタンを押しながら、手前に引き抜きます。
2	加湿器のフタをまわしてはずします。
3	精製水を上の水位を超えないように入れます。
4	フタをまわしてしっかり閉めます。（フタにパッキンが入っていることを確認し、フタが斜めにならないようにしてください。）
5	装置本体に加湿器を取り付けます。（カチッと音がするまで、きっちりと押し込んでください。）

⚠注意

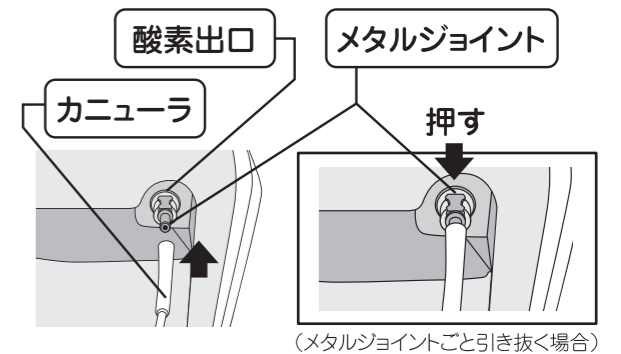
- **加湿器のフタはしっかりと閉めてください。**
  加湿器のフタの閉め方がゆるいときや装置本体への取り付けが不十分なときは、酸素がもれて吸入できません。
- **精製水は週に1回以上交換してください。**
- **加湿器はていねいに洗って清潔に保ってください。**
  加湿器の洗浄の際、ガソリン、ベンジン、シンナー、みがき粉、金属たわし、熱湯などは使用しないでください。変色、変形、傷の原因となります。
- **加湿器にお湯を入れないでください。**ヤケドや加湿器が変形する原因になります。

カニューラ・延長チューブの接続

〈おねがい〉
●カニューラ、延長チューブに結露水がたまっているときは水抜きをしてからお使いください。
結露水がたまってお困りの方は、サービス業者にご相談ください。
●延長チューブの長さはカニューラを含んで15m以内としてください。

1	カニューラを酸素出口に根元まで差し込みます。

延長チューブを使用するときは、延長チューブの一方を酸素出口に差込みます。なお、カニューラを酸素出口からはずす際、かたくてはずしにくい場合は、酸素出口のストッパを押し下げながらメタルジョイントごと引き抜いてください。

（メタルジョイントごと引き抜く場合）

運転のしかた

1	電源プラグを直接、コンセント（単相100V）に差し込みます。
2	電源スイッチを押すと"ピッ"とブザーが鳴り運転を開始します。

音声ガイダンスにより運転開始を案内します。

⚠注意

●流量設定つまみを正確に合わせてください。
流量表示に数字が表示されない位置に、流量設定つまみが止まっていると、酸素が出ません。

運転表示のランプが約10秒 点滅 したのち、点灯 すると、酸素供給の開始です。

3	流量設定つまみを回して、流量表示の数字を医師の処方流量に合わせます。

音声ガイダンスにより流量を案内します。

酸素が出ると流れ表示がスクロール 点灯 します。

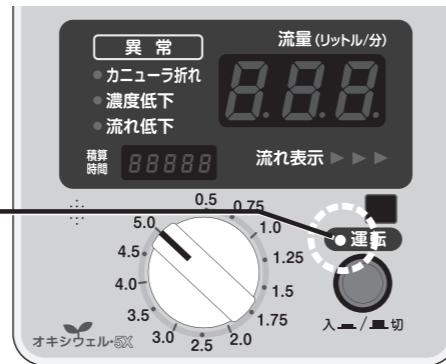
4	カニューラを装着して吸入します。

電源を入れてから、約10分で規定の酸素濃度に達します（5ℓ/分時）。

停止のしかた

1 鼻からカニューラをはずし、電源スイッチを押します。

音声ガイダンスにより運転終了を案内します。

電源スイッチを押した後、運転表示のランプの 点滅 が消灯にかわり、装置が完全に停止することを確認してください。
装置が完全に停止するまでは電源プラグを抜かないでください。

〈おねがい〉●長時間使用しない場合は、性能を維持するため、月に1回以上24時間連続運転をしてください。

お手入れのしかた

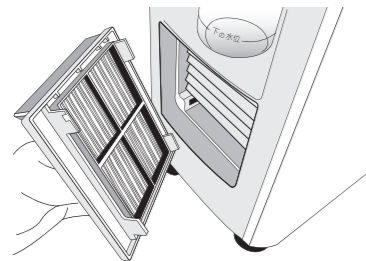
⚠注意

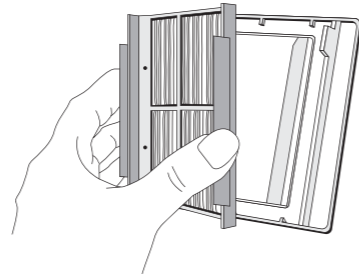
お手入れの際は、必ず運転を停止し電源プラグを抜いてください。
直接水をかけないでください。故障の原因となります。

防塵フィルタの清掃のしかた

空気取入口には **防塵フィルタ** を取り付けています。

空気取入口カバーをはずす

空気取入口カバーの開口部に指をかけて、手前に引くとはずれます。

防塵フィルタをはずす

防塵フィルタの端に指をかけて軽く引っ張るとはずれます。

防塵フィルタの清掃

防塵フィルタは毎日、掃除機などでほこりを取り除いてください。

防塵フィルタの洗浄

防塵フィルタは週に1回以上、中性洗剤で洗い、水道水でよくすすいだ後、陰干しにしてよく乾燥させてください。

洗浄後の防塵フィルタは濡れたままで使用しないでください。故障の原因となります。よく乾燥した予備の防塵フィルタと交換して使用してください。

操作パネル・外装の清掃のしかた

- 柔らかい布でからぶきしてください。
- 汚れがとれないときは水か中性洗剤を含ませ、固くしぼった布でふいてください。

〈おねがい〉清掃の際、ガソリン、ベンジン、シンナー、みがき粉、金属たわし、熱湯などは使用しないでください。変色、変形、傷の原因となります。

カニューラの清掃のしかた

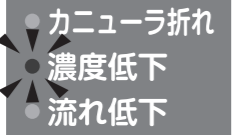
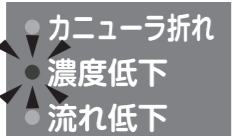
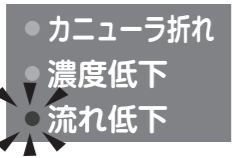
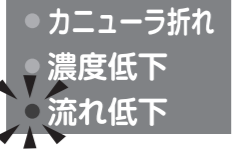
カニューラは定期的に洗浄してください。

- カニューラ先端を薄めた中性洗剤で洗い、流水でよくすすいで陰干しにしてください。
- 先端の穴は綿棒などで清掃してください。

仕様と性能

項目		仕様
品　　名		医療用酸素濃縮装置 **オキシウェル － 5X**
最　大　流　量		5ℓ/分
酸　素　濃　度		88%以上
消　費　電　力		195W(5ℓ/分) 130W(3ℓ/分) 95W(1ℓ/分)
運　転　音		32dB(A)(5ℓ/分) 30dB(A)(3ℓ/分) 26dB(A)(1ℓ/分) ※於無響室(前面1m、高さ30cm)
電　　源		交流100V、50Hz/60Hz、入力390VA
使　用　条　件	周囲温度	5～35℃
	相対湿度	30～75%(結露のないこと)
	使用気圧	900hPa以上(標高約1000mまで)
電撃に対する保護形式		クラスⅡ機器、B形装着部
E　M　C		JIS T 0601-1-2:2012に適合 (CISPR11、グループ1、クラスB)
寸　　法		(幅)27cm ×(奥行)43cm ×(高さ) 52cm
質　　量		21kg

(注記) ● この仕様の数値は50Hz・60Hz共通です。
● 製品改良のため仕様の一部を予告なしに変更する場合があります。
● この仕様の数値は出荷時の値を示します。

故障かな?と思ったら

状況をご確認のうえサービス業者へご連絡ください。

症状		原因	処置
運転を開始しない。	►異 常◄ **が点滅** ブザーおよび音声ガイダンス「コンセントまたはブレーカを確認してください」	●電源プラグがコンセントからはずれている。	●電源プラグをコンセントに差し込んでください。
		●コンセントに電気がきていない。	●他の電気器具を接続し、電気がきているかを確認してください。 ●お住まいの元ブレーカをご確認ください。
運転が停止した。	►異 常◄ **が点灯** ブザーおよび音声ガイダンス「酸素ボンベに切り替えサービス業者に連絡してください」	●装置内部の異常です。	●電源スイッチを押して装置を停止させた後、電源プラグを抜いてください。 ●酸素ボンベに切り替え、サービス業者に連絡してください。
	►異 常◄ **が点灯** ブザーが鳴ります。	●高温となる場所に設置されている。	●電源スイッチを押して装置を停止させてください。 ●装置の周辺にストーブなどの火気がないことや直射日光の影響がないことを確認してください。
	►異 常◄ **が点滅** ブザーおよび音声ガイダンス「コンセントまたはブレーカを確認してください」	●電源電圧の異常です。 【停電】	●電源スイッチを押して装置を停止させてください。 ●停電または部屋のブレーカが落ちていないかご確認ください。 ●停電時は、復旧までお待ちください。 ●部屋のブレーカが落ちている場合、他の電気製品の電源を切って、部屋のブレーカを再投入してください。
		●電源電圧の異常です。 【電源プラグを誤って抜いた】	●電源スイッチを押して装置を停止させてください。 ●電源プラグをコンセントに差し込んでください。
		●電源電圧の異常です。 【装置内部の温度上昇による電源自動遮断】	●電源スイッチを押して装置を停止させてください。 ●防塵フィルタが汚れているときは、予備の防塵フィルタに交換してください。 ●装置の底面やまわりに十分な空間がないときは、装置のまわりの壁などから15cm以上離してください。

症状		原因	処置
運転が停止した。	►異 常◄ **が点滅** ブザーおよび音声ガイダンス「コンセントまたはブレーカを確認してください」	●電源電圧の異常です。 【ブレーカの作動】	●電源スイッチを押して装置を停止させてください。 ●装置のブレーカを確認し、飛び出している場合は、ブレーカを押し込み、電源スイッチを入れてください。 ●再度装置のブレーカが飛び出したときは、装置内部の異常が考えられます。サービス業者に連絡してください。
運転が継続している。	**流れ表示のランプの消灯** 流れ表示 ►►►	●カニューラの折れ	●カニューラや延長チューブの折れまがりやねじれをなおしてください。
		●流量設定つまみの停止位置がずれている。	●流量設定つまみの停止位置を流量表示位置と合わせてください。
		●加湿器の取り付け不十分	●加湿器を装置本体にしっかりと取り付けてください。(7ページ参照)
		●加湿器のフタのゆるみ	●加湿器のフタをしっかり閉めてください。(7ページ参照)
	カニューラ折れ表示のランプ(黄点灯) ●カニューラ折れ ●濃度低下 ●流れ低下	●カニューラの折れ	●カニューラや延長チューブの折れまがりやねじれをなおしてください。
	カニューラ折れ表示のランプ(黄点灯) ブザーおよび音声ガイダンス「チューブの折れ曲がりを直してください」 ●カニューラ折れ ●濃度低下 ●流れ低下	●カニューラの折れ ※30秒以上継続したときは、ブザーが鳴ります。	●カニューラや延長チューブの折れまがりやねじれをなおしてください。

故障かな?と思ったら

症状		原因	処置
運転が継続している。	**濃度低下 表示のランプ （黄点灯）** カニューラ折れ 濃度低下 流れ低下	●酸素濃度が少し低下している。	●防塵フィルタが汚れているときは、予備の**防塵フィルタに交換**してください。 ●1時間ほど様子をみても表示が消えないときは、サービス業者に連絡してください。
	濃度低下 表示のランプ （黄点灯） ブザーおよび音声ガイダンス「酸素ボンベに切り替えサービス業者に連絡してください」 カニューラ折れ 濃度低下 流れ低下	●酸素濃度がかなり低下している。	●酸素ボンベに切り替え、サービス業者に連絡してください。
	流れ低下 表示のランプ （黄点灯） カニューラ折れ 濃度低下 流れ低下	●流量設定つまみの停止位置がずれている。	●流量設定つまみの停止位置を流量表示位置と合わせてください。
		●加湿器の取り付け不十分	●加湿器の取り付けをご確認ください。（7ページ参照）
		●加湿器のフタのゆるみ	●加湿器のフタをしっかり閉めてください。（7ページ参照）
	流れ低下 表示のランプ （黄点灯） ブザーおよび音声ガイダンス「加湿器をしっかりと取り付け、流量設定つまみを正確に合わせてください」 カニューラ折れ 濃度低下 流れ低下	●流量設定つまみの停止位置がずれている。	●流量設定つまみの停止位置を流量表示位置と合わせてください。
		●加湿器の取り付け不十分	●加湿器の取り付けをご確認ください。（7ページ参照）
		●加湿器のフタのゆるみ ※30秒以上継続したときは、ブザーが鳴ります。	●加湿器のフタをしっかり閉めてください。（7ページ参照）

症状	原因	処置
装置は動いているが、酸素が出てこない。	●酸素出口のメタルジョイントが抜けている。	●酸素出口にメタルジョイントを奥まで差し込んでください。
	●延長チューブの接続部がはずれている。	●延長チューブの接続部からもれていないことをご確認ください。
	●流量設定つまみの停止位置がずれている。	●流量設定つまみの停止位置を流量表示と合わせてください。
	●加湿器の取り付け不十分	●加湿器の取り付けをご確認ください。（7ページ参照）
	●加湿器のフタのゆるみ	●加湿器のフタをしっかり閉めてください。（7ページ参照）
煙が出ている、異常に熱い、変な臭いがする。	●装置の故障	●運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。 ●サービス業者に連絡してください。

保守・点検

保守・点検は、サービス業者が実施します。
（少なくとも使用時間5000時間または6ヶ月以内、もしくは使用者が変わるとき）

⚠注意

保守・点検は、定期的に必ず行ってください。

廃棄について

本装置を廃棄する場合は、サービス業者までご連絡ください。

故障や異常の場合は、緊急連絡先までご連絡ください。

緊　急 連絡先	

製造販売元
ダイキン工業株式会社
大阪府摂津市西一津屋1番1号

発売元
大陽日酸株式会社
東京都品川区小山1丁目3番26号

MJ-41(13.01)1K.TI